

令和2年大分県観光統計調査(令和2年1月～令和2年12月・確報)の概要

令和4年7月20日
大分県商工観光労働部 観光局 観光政策課

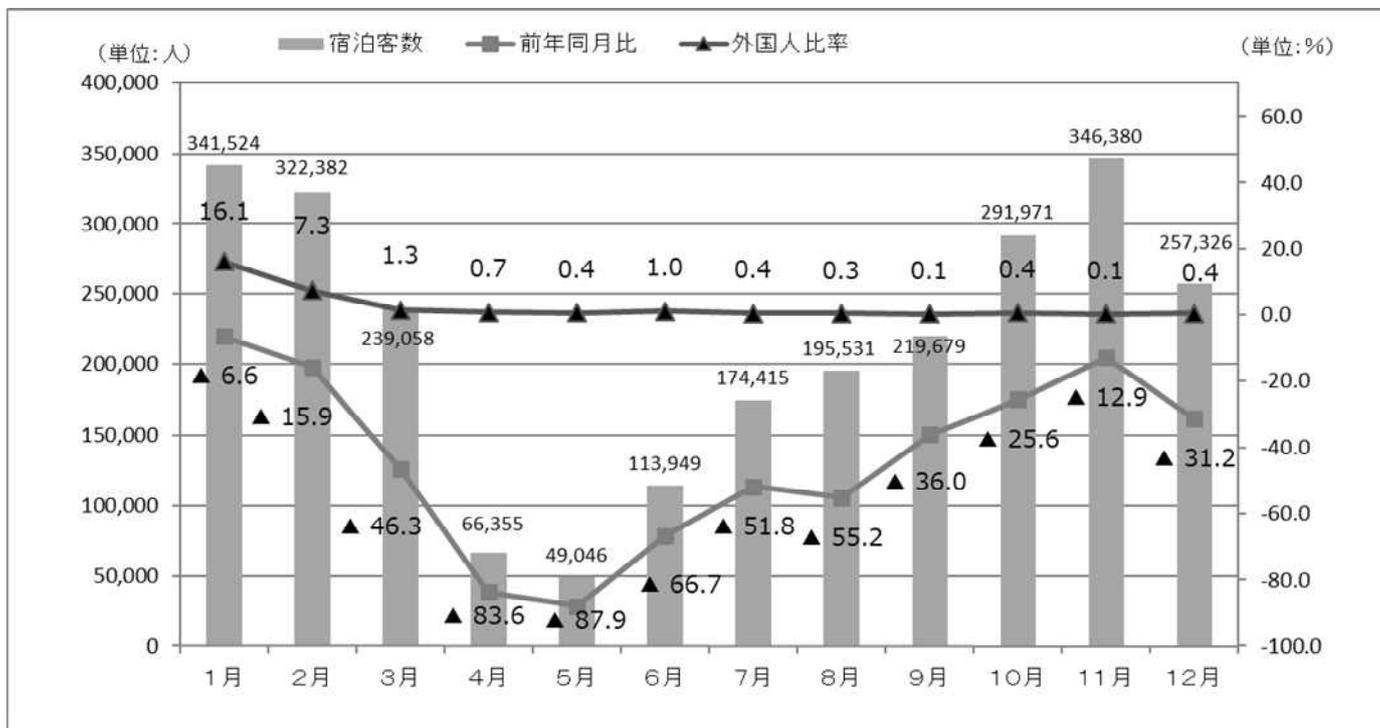
・この調査は、従業員10人以上の県内の主要な宿泊施設(170施設)の宿泊客数及び、主要有料観光施設(28施設)の交流客数などを調査したものです。従業員10人未満も含む県内全宿泊施設を対象とした宿泊客数調査については、観光庁「宿泊旅行統計調査」を参照ください。

- ・令和2年の宿泊客数は、令和元年と比べ△43.7%と減少した。
(参考:対前年比の推移) 令和元年:△0.5%、平成30年:+1.2%、平成29年:+4.9%
- ・国内宿泊客数は、令和元年と比べ△34.8%と減少した。
また、国内宿泊客の構成を居住地別に見ると、福岡県からの宿泊客が最も多く(構成比33.4%)、次いで大分県内(17.0%)、その他九州(県内・福岡県除く)・沖縄(15.3%)からとなっている。
- ・外国人宿泊客数は、平成元年と比べ△88.6%と減少した。
また、外国人宿泊客の構成を国籍・地域別に見ると、韓国からの宿泊客が最も多く(構成比28.5%)、次いで台湾(24.0%)、香港(14.6%)、中国(大陸)(13.3%)の順となっている。

1 令和2年の県内宿泊客の動向

令和2年の県内における宿泊客数は、令和元年と比べ△43.7%と減少した。
新型コロナウイルスの感染防止対策に伴う移動制限が宿泊客数に大きく影響したと考えられる。
特に、外国人宿泊客数については、3月以降の入国制限により、令和元年と比べ△88.6%と大幅に減少した。

【図表1】令和2年月別宿泊客数(確報)



2 国内宿泊客の動向

令和2年の国内宿泊客数は、令和元年と比べ△34.8%と減少した。【図表2】

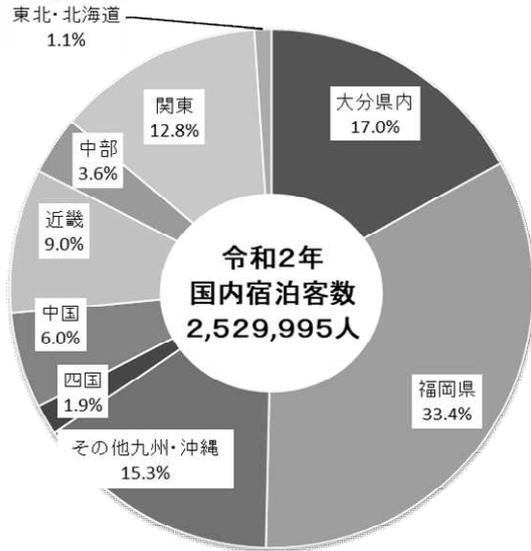
月別推移を見ると、全ての月において前年を下回っており、特に、4月の前年比△83.6%と5月の前年比△87.9%が極めて低い水準となっている。これは、4月7日に初めて国内で緊急事態宣言が発令され、その後、対象地域が全国に拡大されるなど移動制限が実施されたことによると考える。【図表3】

発地別に見ると、福岡県からの宿泊客数が最も多く33.4%を占め、次いで大分県内が17.0%、その他九州・沖縄が15.3%の順となっており、近隣からが6割近くを占める。【図表2】

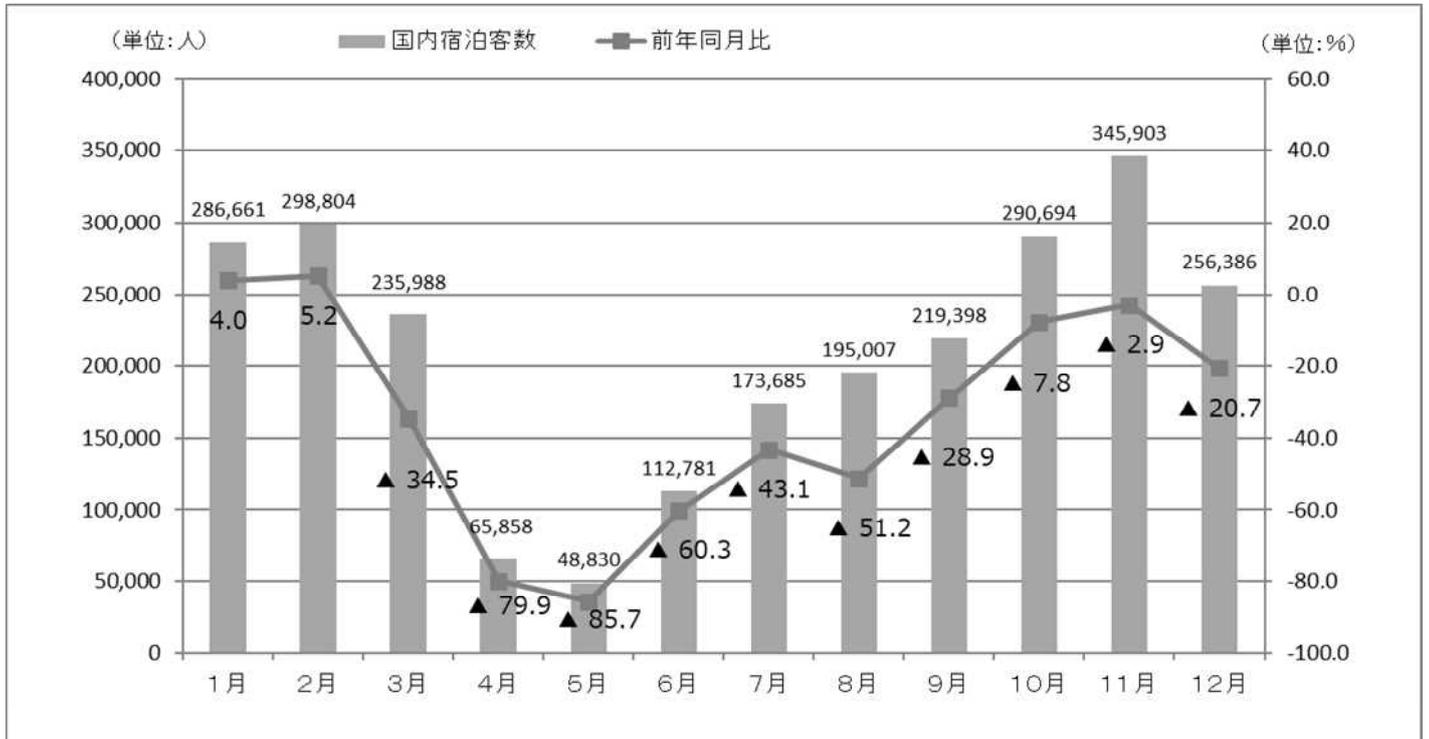
【図表2】国内発地別宿泊客数および構成比

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)
大分県内	429,667	△26.2
福岡県	844,171	△19.9
その他九州・沖縄	386,198	△43.3
四国	48,040	△60.3
中国	151,217	△52.9
近畿	227,916	△32.3
中部	92,034	△44.8
関東	324,147	△41.6
東北・北海道	26,605	△57.0
国内小計	2,529,995	△34.8

国内宿泊客の構成比(令和2年)



【図表3】令和2年月別国内宿泊客数



3 外国人宿泊客の動向

令和2年の外国人宿泊客数は、令和元年と比べ△88.6%と減少した。【図表4】

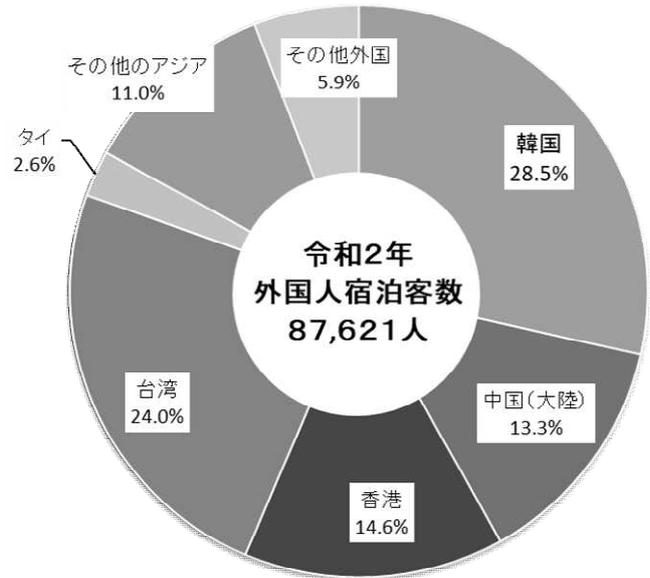
月別推移を見ると、1月～2月を除き、それ以外の月で前年を下回った。【図表5】

外国人宿泊客の国籍別構成比をみると、韓国からが最も多く、外国人宿泊客全体の28.5%、次いで台湾、香港、中国（大陸）の順となっている。これについては、令和元年調査と同じ順であり、新型コロナウイルスの感染症の水際対策に伴う入国制限前の外国人宿泊客数が影響していると考えられる。【図表4】

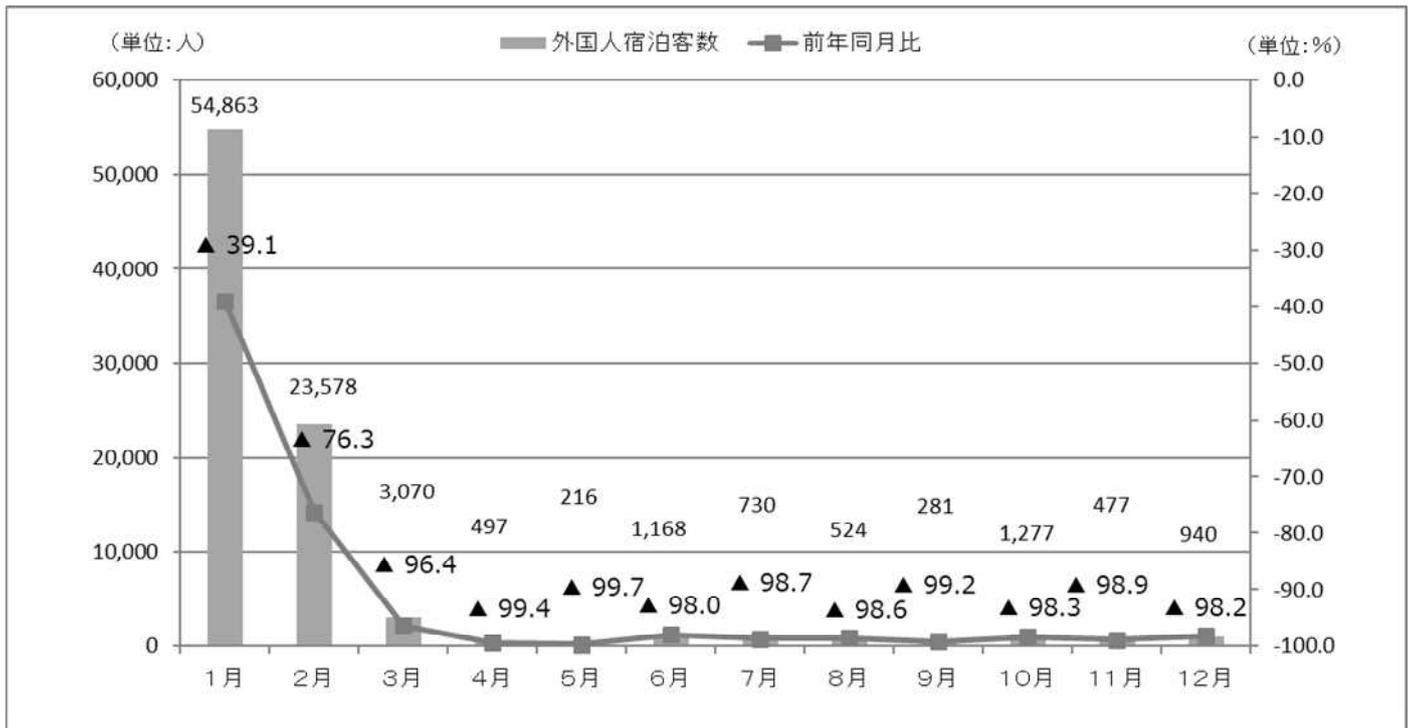
【図表4】外国人発地別宿泊客数および構成比

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)
韓国	25,002	△92.7
中国(大陸)	11,671	△86.1
香港	12,782	△85.7
台湾	21,046	△85.0
タイ	2,289	△87.5
その他のアジア	9,672	△68.7
その他外国	5,159	△91.9
外国小計	87,621	△88.6

外国人宿泊客の構成比(令和2年)



【図表5】令和2年月別外国人宿泊客数



4 市町村別宿泊客

令和2年の県内宿泊客数を市町村別に見ると、全ての地域において前年を下回っている。構成比では、別府市が最も多く、全体の45.3%を占める。【図表6】

【図表6】市町村別宿泊客数

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)	構成比 (%)
大分市	640,061	△37.0	24.5
別府市	1,186,079	△45.5	45.3
日田市	136,633	△45.7	5.2
竹田市	77,901	△37.7	3.0
由布市	176,664	△44.7	6.7
九重町	50,315	△48.7	1.9
その他の市町村	349,963	△47.2	13.4
県計	2,617,616	△43.7	100.0

5 県内交流客数

大分県観光統計調査では、県内交流客数として、有料観光施設の入場者数や道の駅レジ打ち数等の項目について調査しており、その結果は以下のとおりとなった。

道の駅（レジ打ち数）を除く項目が前年比プラスとなった。

・ 有料観光施設(入場者数)	3,131,174人 (対前年比 △51.7%)
・ 道の駅(レジ打ち数)	3,150,189回 (同 △14.3%)
・ 大分空港(乗降客数)	812,640人 (同 △59.0%)
・ 県内港湾乗降客数	714,041人 (同 △59.9%)

【参考】調査対象有料観光施設¹(合計28施設)

屋内施設(13施設)	市町村
大分マリンパレス水族館「うみたまご」	大分市
大分県立美術館	
大分市立美術館	
スギノイパレス	別府市
アクアビート	
福沢旧居・資料館	中津市
サッポロビール九州日田工場	日田市
地底博物館鯛生金山	
滝廉太郎記念館	竹田市
富貴寺	豊後高田市
安心院葡萄酒工房	宇佐市
朝倉丈夫記念館	豊後大野市
国東市歴史体験学習館「弥生のムラ」	国東市

屋外施設(15施設)	市町村
高崎山自然動物園	大分市
別府地獄めぐり(別府地獄組合)	別府市
別府ロープウェイ	
城島高原パーク	
別府ラクテンチ	臼杵市
臼杵石仏	
風連鍾乳洞	竹田市
くじゅう花公園	
岡城跡	豊後高田市
昭和の町	
熊野磨崖仏	
真木大堂	宇佐市
九州自然動物公園アフリカンサファリ	
稲積水中鍾乳洞	豊後大野市
ハーモニーランド	日出町

¹ 平成27年調査から、大分県立美術館、大分市美術館を対象施設として追加した。
平成30年調査から、マリンカルチャーセンター、九州湯布院民芸村を対象施設から除外した。